



## アジア健康構想

2025年1月16日開催「アジア健康構想における保健課題解決を目指す日本企業  
交流セミナー」開催概要

内閣官房 健康・医療戦略室  
2025年2月

# イベント概要

## 開催概要

目的：ハノイ・ホーチミンでのイベントに登壇頂いた企業から、イベント参加の経験を踏まえたベトナムでの事業の成果や今後の戦略等について情報共有、対面参加者間での参加者交流会

主催：内閣官房 健康・医療戦略室

日時：2025年1月16日（木） 13:30～16:30

※15:30～16:30:参加者交流会（現地参加のみ）

場所：株式会社三菱総合研究所 4階 大会議室

参加日本企業（登壇順）：インフィック株式会社、エルピクセル株式会社、コニカミノルタ株式会社、株式会社ユカシカド、Lea Bio株式会社、栄研化学株式会社、メドリング株式会社、オリンパス株式会社、富士フイルム株式会社、株式会社Redge

## 結果

現地参加者58人

オンライン参加者56人



セミナー会場の様子

## プログラム

13:30-13:35	【開会挨拶】 鈴木 秀生 内閣官房 健康・医療戦略室 国際保健担当大使
13:35-13:45	【今年度調査事業説明】 片岡 真理華 内閣官房 健康・医療戦略室 参事官補佐
13:45-14:35	【日本企業10社からのプレゼン】
14:35-15:05	【パネルディスカッション】 鈴木 秀生 内閣官房 健康・医療戦略室 国際保健担当大使 肥後 裕輝 九州大学留学生センター 教授、九州大学アジア・オセアニア研究教育機構 (Q-AOS) エイジングモジュール長 五味 郁子 神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 栄養学科 教授 森山 智彦 九州大学病院 国際医療部 アジア遠隔医療開発センター長
15:05-15:25	【アジア健康構想の日本政府・関係機関からのコメント、参加者からの質疑応答】 経済産業省、厚生労働省、JICA、JETRO
15:25-15:30	【謝辞（所感、今後の進め方）】 鈴木 秀生 内閣官房 健康・医療戦略室 国際保健担当大使
15:30-16:30	参加者交流会



# 開会挨拶・R6年度事業に関するご報告

## 鈴木大使ご挨拶



- 昨年11月のイベントに参加いただいた日本企業10社、パネルディスカッションで知見を共有いただき有識者の皆様、講評いただく日本政府・関係機関の皆様へ感謝。日本政府は2019年にベトナムとヘルスケア分野に関する協力覚書に署名し、2022年には「グローバルヘルス戦略」を策定し、ベトナムを重要なパートナーシップ国として位置づけている。2023年は日越外交関係樹立50周年を迎え、両国関係は「アジアと世界における平和と繁栄のための包括的戦略的パートナーシップ」に格上げされた。2024年11月のAPEC首脳会議における石破総理大臣とクオン国家主席との首脳会談では、高齢化社会への対応を含めあらゆる分野での日越協力を深化していくと言及された。
- 内閣官房としては、2024年11月にハノイ医科大学病院との共催で高齢化・栄養に関する官民セミナー、ホーチミン医科薬科大学との共催で高齢化をテーマとして官民マッチングイベントを開催。また、12月にハノイで開催した第2回日越ヘルスケア合同委員会では、高齢化及び栄養関連の課題における日越協力のためのロードマップの素案を議論し、両分野での取組を更に進展させることで一致した。
- グローバルヘルス戦略におけるユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の達成を目指し、日越関係をさらに深化させ、ASEAN域内への展開につなげていくことが期待される。

## R6年度事業に関するご報告（内閣官房 片岡補佐）



- ベトナムとの協力は、協力覚書により推進されている。これに沿って、日越間協力を進めるため、ヘルスケア合同委員会を定期開催し、2023年11月にオンラインで第1回を、2024年12月にハノイで第2回を実施。第2回の主な議題は高齢化と栄養で、ロードマップの素案を議論。また、現地視察を行い、バクマイ病院、NURA、テルモベトナム工場を訪問した。
- 2024年11月にはハノイ医科大学病院と共催で官民セミナーを開催し、日本政府と同病院間で高齢化及び栄養関連の課題における日越協力のためのロードマップを合意。日本企業各社によるプレゼンのほか、日有識者による知見の共有も行われた。また、ホーチミン医科薬科大学と共催で官民イベントを開催し、有識者による高齢化・NCDs対策に関する知見の提供と、日本企業5社とホーチミン市病院関係者とのマッチング面談を実施した。各イベントでは日本企業と日本との協力への期待が寄せられ、満足度も高かった。次年度もベトナムでの官民イベントを検討中である。

## 日本企業の登壇

### インフィック株式会社（オンライン）

- 「LASHIC」で介護DXを推進し、業務効率化・自立支援を図る。セミナーでは、ベトナムから様々な反応があった。ベトナムの実態やニーズに合わせたサービス構築を目指したい。



### エルピクセル株式会社

- ベトナムで医療画像診断支援AI「EIRL」シリーズ展開。ベトナムでの医療機器登録が完了し、病院トライアルが進行中。また、日越民間企業との協業も加速。



### コニカミノルタ株式会社

- CT画像3D解析ソフト「Ziostation2」について、ハノイ医科大学病院とPOCを開始。X線動態解析技術「DDR」も展開。ベトナムの医療課題解決に資する日本の最新医療提供には官民連携強化が不可欠。



### 株式会社ユカシカド

- 栄養素測定が可能な2つの製品を提供。今後はデータ・技術を活用して疾病予測・健康増進サービスにつなげたい。日本発のソリューションをアジア諸国に提供したい。



### Lea Bio株式会社

- 人材不足・医療環境の改善を目的に、健康情報相互管理システム「MEQUY」をベトナムで展開中。越病院でのトライアルやセミナー実施を予定。



### 栄研化学株式会社

- 便潜血検査装置OC-SENSORの紹介。政府主催セミナーの開催でトップリレーションの開拓ができた。官と連携したパイロット運用や、産学連携による実証等を模索。



### メドリング株式会社（オンライン）

- 電子カルテ「MEDi」等を紹介。11月のイベントを経て、シミュレーション教育における製品利用を交渉中。インドネシアでも事業展開が進むなど、日本式医療の輸出に取り組む。



### オリンパス株式会社

- 医療用内視鏡やAIなどのデジタルソリューションを紹介。健康寿命延伸の観点で、人材不足・早期発見に資するソリューション展開の可能性を確認。



### 富士フイルム株式会社

- 予防医療の重要性を強調、ベトナムのビジネス環境を認識。健診センター「NURA」含め、予防医療及び感染症対策に取り組む。薬事対応では政府との連携が必要。



### 株式会社Redge

- 医療機器管理システム「CeTrax」・教育用のVRカメラを紹介。VR体験は現地で高評価を受け、病院とのPOCを予定。医療機器管理を通じて、医療課題解決に貢献したい。



# パネルディスカッション・質疑応答

## パネルディスカッション・質疑応答

- パネルディスカッションにおいては、以下の2点がトピックとして挙げられた。
  1. 各専門の中で、ベトナムが抱える保健課題の現状について特に注目している点
  2. 登壇企業の発表に対する質問・コメント



左から、  
肥後 裕輝氏（九州大学留学生センター 教授、九州大学アジア・オセアニア研究教育機構（Q-AOS）エイジングモジュール長）  
五味 郁子氏（神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 栄養学科 教授）  
森山 智彦氏（九州大学病院 国際医療部 アジア遠隔医療開発センター長）  
鈴木 秀生大使（内閣官房 健康 医療戦略室 国際保健担当大使）

（パネルディスカッションにおける主な回答）

1.
  - ベトナムでの高齢化に対する課題認識が向上していると実感。今後は包括的な視点を持ち国際協力を模索できる次世代リーダーの育成に期待。
  - 病院給食制度の立ち上げから高齢者の嚥下障害など、ここ10年で課題認識が変化。ベトナムニーズをよく理解し、実情に合わせた施策が必要。
  - 人材育成観点では、AI利用だけでなく思考過程の教育や、コメディカル人材の育成が必要。富む前に老いるベトナムでは、日本と違うアプローチが求められる可能性。
2.
  - プレゼンの中に、データや波及効果等を含めることで、製品の付加価値が最大限に伝わるのではないかと。
  - 健康診断の体制整備で、日本企業がタイアップするパッケージ導入に期待。また、栄養データベース構築などがサービス展開の基盤として必要。
  - 機器の不適切な管理、ランニングコスト負担等が、医療機器を導入した後の課題であり、各企業は持続的に稼働する仕組みの構築が必要。



参加登壇企業の質疑応答の様子

# アジア健康構想の日本政府・関係機関からのコメント、閉会挨拶

## 各関係省庁・機関からのコメント



経済産業省  
ヘルスケア産業課

- 介護、デジタル技術、未病・予防、メンタルヘルスなど多様な分野について学びの多いパネルディスカッションだった。
- MExx構想として、ベトナムでアウトバウンドを展開。医療インバウンドでもベトナム連携があり、今後ともアジア健康構想で協力を推進したい。



厚生労働省  
医療国際展開推進室

- 医療の国際展開に向けた取組として、医療技術等国際展開推進事業など様々ある。特にベトナムは公募事業のヘルスケア分野が盛んで、日越の協力を一層強化したいと考えている。
- 支援事業の情報発信、紹介を行っており、興味があれば声かけ頂きたい。



JICA  
民間連携事業部

- 持続可能性、人材還流、安全保障への貢献等、支援によるインパクトを追及して、今後もベトナムにおいて様々支援を行っていききたい。
- ベトナムに事務所あり、気軽に意見交換ができればと思う。



JETRO  
海外展開支援部

- これまで中堅・中小企業の海外展開と輸出支援に取り組んできており、今後も海外進出・共同研究等の支援を継続。
- ハノイ・ホーチミン拠点で、様々な専門家が無償でアドバイスを提供しており、是非相談して頂きたい。

## 鈴木大使ご挨拶

- 様々刺激のあるプレゼンが多く、インタラクティブに進行した。パネルディスカッションにおいても、有識者の先生の質問に対し、企業が答えて頂き、有意義なディスカッションができた。
- 事業を通じて培ったコミュニティを大切にしつつ、オールジャパンでの連携を進めていきたい。

